

Department of Humanities

人文学科

Field of study 学びのフィールド



Feature 学科の特徴

さまざまな創作表現の演習・実習を通じて豊かな感性を育む

創立者・跡見花蔭の理念を今に受け継ぐ、実践的な学びを豊富に用意しています。理論だけでなく、書道や絵画など、日本や東洋・西洋の文化に触れる造形芸術を学ぶ実習を通じて、創造力と豊かな感性を育みます。

少人数スタイルを大切にした授業で探究力を育む

4年次までの各年次の「研究入門」や「演習」科目を通じて「自ら考え、調べ、理解し、表現する」力を修得。専門分野を深めるのに必要な学習方法やプレゼンテーションの力は、少人数制の必修クラスで段階的に育みます。

幅広い選択肢の中から、自分の新たな可能性を切り拓く

人文学科では、幅広い分野の学びの選択肢を用意しています。その中から、自分自身で学ぶべきことを見つけ、選び、学習することで、新たな可能性が広がります。教職、学芸員、司書などの資格取得も可能です。

目指せる仕事

- 国語科教諭(中学・高校)
- 書道科教諭(高校)
- 美術科教諭(中学・高校)
- 司書教諭
- 図書館司書
- 学芸員
- 一般企業
- 公務員

取得可能な資格

- 中学校教諭一種(国語・美術)
- 高等学校教諭一種(国語・書道・美術)
- 司書
- 司書教諭
- 学芸員

人文学科
ホームページは
こちら



日本の伝統に根ざし
国際社会に通用する
見識を養成。

幅広い将来の進路に合わせて、8つの履修モデルを設定

日本文学

日本文学に関する幅広い教養と、その分野における高い見識を身に付ける



【履修科目例】

- 日本文学概論
- 中国文学概論
- 日本文学史
- 国語学概論
- 古代日本文学
- 近世日本文学
- 漢文学
- 日本語文章表現

【卒業論文・卒業研究 テーマ例】

- 19世紀初頭の童謡にみる東京語アクセントの反映
- 怪異の描写と享受—説話における鬼を手掛かりに—
- 配列から見る『宇治拾遺物語』の和歌說話

美術史

美術史を幅広く学び、豊かな教養と感性を育む



【履修科目例】

- 日本美術史(鑑賞を含む)A
- 日本美術史(鑑賞を含む)B
- 西洋美術史(鑑賞を含む)A
- 西洋美術史(鑑賞を含む)B
- 東洋美術史(鑑賞を含む)
- 近代美術史(鑑賞を含む)
- 文化財学
- 東西美術交流

【卒業論文・卒業研究 テーマ例】

- 浮世絵に見る雨の表現
- 日本刀—刃文の魅力—
- 『アルビノのヴィナス』から見るティツィアーノの思惑

国際教養

世界各地の文化の多様性に関する知識を深める



【履修科目例】

- 比較文化概論
- 英米文学概論
- 日本外交史
- 国際関係学
- 国際文化交流
- 国際協力論
- 多文化社会と民族問題
- 現代中東アフリカ論

【卒業論文・卒業研究 テーマ例】

- 多文化共生のあり方と外国人への向き合い方—やさしい日本語の活用で外国人への関心を高める必要性について—
- 東南アジアにおける購読文化変容
- イスラームのシンゲレ—戦時代と地域で変容するシンゲレ—

しています。

西洋史

西洋史をさまざまな視点から学び、多角的に考察する



【履修科目例】

- 西洋史概説A
- 西洋史概説B(近代)
- 西洋史概説
- 日本史概説B(近代)
- ヨーロッパの歴史と社会
- 西洋文化史
- アメリカ史
- イスラム史

【卒業論文・卒業研究 テーマ例】

- セルビアと日本の交流史
- ヨーロッパの海賊と大航海時代の関わり
- 中世ベストと新型コロナウイルスの感染対策の比較

創作・表現

作品を創作し、自己を表現する技術を修得する



【履修科目例】

- 書芸術の鑑賞
- 創作論
- 物語論
- シナリオ論
- 近代日本文学
- 日本語文章表現
- 作家と表現
- 国語史

【卒業論文・卒業研究 テーマ例】

- 現代の映画・ゲーム内に登場する宗教表現
- 文化の中のミイラ—古代エジプト人とトランプ族の例から—
- 『ハリー・ポッター』シリーズの魅力

総合文化

文化について総合的に学び、多様性への理解を深める



【履修科目例】

- 文化人類学
- 民俗学
- 考古学概説
- 比較文化概論
- 女性と文化
- 文化と心理
- 文化と身体
- 伝承文化論

【卒業論文・卒業研究 テーマ例】

- 現代の映画・ゲーム内に登場する宗教表現
- 文化の中のミイラ—古代エジプト人とトランプ族の例から—
- 『ハリー・ポッター』シリーズの魅力

日本史

遺跡や文献にも触れながら日本の歴史の深層を探る



【履修科目例】

- 日本史概説A
- 日本史概説B(近代)
- 日本外交史
- 東洋史概説
- 日本の歴史と社会
- 日本文化史
- 日本思想史
- 風俗史

【卒業論文・卒業研究 テーマ例】

- 雑誌『児童』から見る大正時代の子ども教育
- 明治期の脚氣対策—国家・医師構造を通して—
- 文化としての江戸時代の性意識及び売春者の検討

現代思想・社会

哲学や古典学、民俗学などから現代社会の成り立ちを考える



【履修科目例】

- 哲学概論
- 美学概論
- 文化人類学
- 民俗学
- 中国哲学史
- 西洋哲学史
- 比較神話論
- 現代思想

【卒業論文・卒業研究 テーマ例】

- ヘルマン・ヘッセの思想と活動
- 性同一性障害—多様な性と自己執行
- 中原淳一の美学—昭和少女へのメッセージ

Teacher training course 教職課程

■ 取得可能な教員免許状

- 国語(中・高)
- 書道(高)
- 美術(中・高)

■ 教員免許状の取得のために

学科の卒業要件とは別に教職課程で開講する科目を履修する必要があります。教育の基礎理論や生徒指導など、教師として必要な知識を身に付けるほか教育実習などの学外実習も行います。

教職課程 科目例	■ 教職論	■ 教育心理学	■ 教育相談及びカウンセリング
	■ 教育原理	■ 道徳教育指導論	■ 教育実習 など
実習	[3年次] 介護等体験(7日間)※ [4年次] 教育実習(2~4週間)		

※中学校教諭一種免許取得者のみ



Pick up

書芸術の鑑賞

書芸術とは、三千年以上の歴史を持つ漢字が時代の風気と共にそのスタイルを変えながら花開いた芸術です。本講義では、中国・日本の著名な能書家・作品をピックアップし、掛け軸や拓本・図版などを鑑賞します。鑑賞という行為を通して「本物を見極める力」を養い、豊かな情操と創造性を養い、書の表現力の幅が広がることを目指しています。

Curator training course 学芸員課程

- 美術系
- 歴史・民俗系

■ 学芸員資格取得のために

卒業に必要な単位を充足しながら、これとは別に学芸員課程開講の諸科目を履修しなければなりません。博物館概論や博物館資料保存論、博物館展示論などの科目から、学芸員業務に必要な基礎知識を修得し、さらに学外実習(博物館実習)で実地の経験を積むことが求められます。

学芸員課程 科目例	[1~2年次]	■ 博物館概論
	[3年次]	■ 博物館資料論
	[4年次]	■ 博物館実習



Pick up

博物館実習

博物館実習は、学芸員資格取得のために開設されている「学芸員課程」の科目の一つです。学内、および実習館(博物館、美術館など)の実習で、学芸員に必要とされる知識・技術などを修得します。掛け軸や巻子(かんず)の取り扱い、台帳整理(資料カード作成)、写真撮影などを学び、学芸員業務の基本を修得します。

Curriculum カリキュラムの概要

学びのステップ	1年次	2年次	3年次	4年次	
	幅広い分野を学び、多角的な思考力と広い教養を身に付ける		専門的な学びを深め実践力を高める	専門性を高め、学びの集大成を表現する	
総論	日本文学概論 日本文学史 中国文学概論 書道史 書芸術の鑑賞 国語学概論 創作論 物語論 シナリオ論 日本史概説A 日本史概説B(近代) 東洋史概説 西洋史概説A 西洋史概説B(近代)	日本美術史(鑑賞を含む)A 日本美術史(鑑賞を含む)B 西洋美術史(鑑賞を含む)A 西洋美術史(鑑賞を含む)B 博物館概論 文化人類学 民俗学 考古学概説 哲学概論 日本史概説A 国際関係学 日本外交史 比較文化概論 英米文学概論	Pick up 各論 Pick up 古代日本文学 中世日本文学 近世日本文学 近代日本文学 漢文学 書論 比較文学 国語史 国語音声学 日本語文章表現 テキスト分析論 作家と表現 日本の歴史と社会	日本文化史 風俗史 中国文化史 現代日本社会 現代アジア社会 ヨーロッパの歴史と社会 西洋文化史 イスラム史 現代ヨーロッパ社会 現代アメリカ社会 東洋美術史(鑑賞を含む) 近代美術史(鑑賞を含む)	文化財学 世界の宗教 東西美術交流 国際文化交流 西洋図像学 多文化社会と民族問題 女性と文化 地政学 文化と心理 国際連合 文化と身体 国際協力論 現代中東アフリカ論 文化の翻訳 現代思想 日本思想史 中国哲学史 西洋哲学史 比較神話論
研究入門		人文学研究入門A 人文学研究入門B 人文学研究入門C 人文学研究入門D 人文学研究入門E 人文学研究入門F 人文学研究入門G 人文学研究入門H 人文学研究入門I 人文学研究入門J 人文学研究入門K 人文学研究入門L	特殊講義 人文学特殊講義(日本文学)A 人文学特殊講義(日本文学)B 人文学特殊講義(日本文学)C 人文学特殊講義(日本文学)D 人文学特殊講義(日本文学)E 人文学特殊講義(日本文学)A 人文学特殊講義(日本文学)B 人文学特殊講義(日本文学)C 人文学特殊講義(日本文学)A 人文学特殊講義(西洋史)A 人文学特殊講義(西洋史)B 人文学特殊講義(西洋史)C 人文学特殊講義(美術史)A 人文学特殊講義(美術史)B	人文学特殊講義(美術史)C 人文学特殊講義(総合文化)A 人文学特殊講義(総合文化)B 人文学特殊講義(総合文化)C 人文学特殊講義(総合文化)D 人文学特殊講義(総合文化)E 人文学特殊講義(現代思想・社会)A 人文学特殊講義(現代思想・社会)B 人文学特殊講義(現代思想・社会)C 人文学特殊講義(国際教養)A 人文学特殊講義(国際教養)B 人文学特殊講義(国際教養)C 人文学特殊講義(国際教養)D	
基礎実習	書道基礎実習AⅠ(入門) 書道基礎実習AⅡ(応用) 書道基礎実習B(楷書) 書道基礎実習C(行書) 絵画基礎実習Ⅰ(入門) 絵画基礎実習Ⅱ(応用)	デザイン基礎実習Ⅰ(入門) デザイン基礎実習Ⅱ(応用) 彫刻基礎実習Ⅰ(入門) 彫刻基礎実習Ⅱ(応用) 工芸基礎実習Ⅰ(入門) 工芸基礎実習Ⅱ(応用)	特殊実習 創作ライティング演習A(物語) 創作ライティング演習B(シナリオ) 創作ライティング演習C(短歌)	創作ライティング演習D(俳句) 創作ライティング演習E(評論・随筆)	
資格科目	教育原理 教育心理学		実習 書道実習A(草書) 書道実習B(隷書) 書道実習C(篆書・篆刻) 書道実習D(仮名) 書道実習E(漢字仮名交じり) 書道実習F(実用書法) 絵画実習A(洋画) 絵画実習B(洋画) 絵画実習C(日本画) 絵画実習D(特殊表現) デザイン実習A(色彩構成)	デザイン実習B(平面構成) デザイン実習C(空間構成) デザイン実習D(視覚伝達デザイン) 彫刻実習A(塑像) 彫刻実習B(石膏) 彫刻実習C(テラコッタ) 彫刻実習D(金属造形) 工芸実習A(紙) 工芸実習B(木) 工芸実習C(空間演出) 工芸実習D(土)	
文学部共通専門科目	【講義】 英語実用文法 レトリック概論 言語学概論 芸術論 造形論 色彩論 装いの心理学 化粧の心理学 図書館概論		演習 人文学演習ⅠA 人文学演習ⅠB	人文学演習ⅡA 人文学演習ⅡB 卒業論文・卒業研究	
	【実習】 芸術芸術実習(茶道) 芸術芸術実習(華道) 芸術芸術実習(香道)		文学部共通専門科目 【講義】 演劇論 情報文化史 言語哲学 色彩象徴論 朗読法 図書・図書館史	コミュニケーション心理学 【演習】 情報サービス演習A	

※このカリキュラムは2023年度現在の教育課程に基づくものです。

Student's Voice 学生の声

幅広い分野の学びに触れることで

自分の可能性がどんどん広がり、

「本当にやりたいこと」を見つけられます。

M.M.さん

人文学科4年 埼玉県 県立越谷北高等学校出身

高校時代に日本の古典文学に興味を持つようになり、大学でも日本文学を学びたいと思う一方で、学ぶ分野を絞り込みたくないという思いもありました。そうした中で、跡見学園女子大学の人文学科では、日本文学のほかにも日本や世界の歴史、創作表現も学べると知り、ここでなら本当にやりたいことが見つかると思い、入学しました。

私は創作系の授業として、短歌を学んでいます。実際に自分で短歌をつくり、学生同士でそれぞれの短歌の良いところや、改善できる点を指摘し合っています。これまであまり創作活動に取り組んだことがなく苦しい意識がありましたが、この授業を通して作品をつくることや、自分の考えを表現することの面白さを実感できるようになりました。

3年次の時間割(例)

	月	火	水	木	金	土
1限	デジタル編集	教育課程論	朗読法		教育学概論	精神病理学
2限		国語科教材論A	人文学特殊講義(日本文学)E			
3限	近代日本文学	近世日本文学	創作ライティング演習(俳句・短歌)	人文学演習ⅠA	日本語演習	
4限	国語科教材論A		創作ライティング演習(俳句・短歌)	コミュニケーションビジネス	工芸実習A(紙)	
5限		国語音声学				

Pick up 授業紹介

五感を使い、古典文学の魅力を知る

中世日本文学

加美 甲多 准教授【研究分野】日本中世の文学

皆さん、古典文学(古文)は難しい、わからないと思いませんか。もしそうなら、それはとてももったいないことです。古典文学は読むことが基本ではありますが、例えば、絵画を見たり、音楽を聴いたり、映像を観たりすることで学べます。この授業では各自が五感を用いながら日本中世の文学に触れることから始まります。難しく考えずまずは古典文学を感じてみることで、文学の新たな面白さや奥深さを見えてくるかもしれません。



文学部

人文学科

権利を守るため闘った民衆の実像

日本の歴史と社会

長谷川 裕子 教授【研究分野】日本中世史

中世の民衆は、権力に一方向的に支配される無力な存在だったのでしょうか?いえ、そんなことはありません。中世に生きる人びとは、百姓であっても武力を保持していました。そして、自分たちの権利を妨げたり、生活・生命に危機をもたらす存在に対して自力で闘っていたのです。本授業では、歴史を紡いできた人びとの営みを、民衆の「生存」という観点から読み解いていきます。